

秦野ビクターセンター自然教室 「はじめての地図とコンパス」

実施報告

開催日：2014年11月21日(金)

参加者：30名

毎年行っている地図読みの自然教室。まずは、室内で「地図の読み方」と「コンパスの使い方」の基礎を学びました。その後、萩山林道・三ノ塔尾根を歩きながら、実践です。問題を解いたり、学んだことを復習しながらポイントを覚えていきました。青空と紅葉の中、気持ちよく地図の読み方を学んでいただけたようです。



登山経験は？ 遭難した経験は？
などお互いを知るアイスブレイク。



地図読みの講義。地図記号や等高線の形から地形を考えます。問題や地形模型を見ながら理解を深めます。



コンパスの講義。地図の北とコンパスの指す磁北の違いから…。角度の測り方等、基本を学びます。



気持ちの良い秋晴れの中、いよいよ野外での実習。整地や山座同定をコンパスを使って実践。



林道や登山道での野外実践へ出発！ 記号や等高線を頼りに目標地点へ進みます。



軽車道と車道の分かれるところ。地図記号も違います。



谷の等高線はどうなっている？



登山道では、等高線を読もう！ 地形を意識して！ 尾根になったところはここかな。



最後に、全員でコンパスを使って、現在地を探します。

アンケート回答より

- ・講習の内容がはっきりしていて実践的よかった。
- ・コンパスが身近になった。
- ・地図の見方が良くわかりました。
- ・歩いていたら見落としてしまいそうなポイント等を意識することができた。
- ・携帯するだけでなく、地図を活用して山に行きたいと思います。地図読みだけでも面白かったので楽しみが広がりました。
- ・面倒がらずにこまめにコンパスをできるように心がけたい。
- ・コンパスを使用して、登る山の方向を確認できるようになりました。
- ・事前準備、特に地図の重要性を学んだ。

など